

すこやか 9 月号

第 199 号

SANDA CITY HOSPITAL PRESS SUKOYAKA



特集
FEATURE

骨粗しょう症と骨密度 ～新たな骨密度測定装置を導入～



副院長
角田 雅也

- 日本整形外科学会専門医
- 日本整形外科学会認定
脊椎脊髄病医
- 日本整形外科学会運動器
リハビリテーション医
- 義肢装具等適合判定医師

骨粗しょう症について

骨粗しょう症は、骨がスカスカでもろくなり、骨折しやすくなる病気です。わが国においては、急速な高齢化に伴い、患者は年々増加し、およそ1300万人が罹患していると推測されます。また、50歳以上の女性の3人に1人は骨粗しょう症患者とされています。

腰が曲がってきた、腰が痛い、背が縮んだなどの症状を感じる方は、骨粗しょう症が原因かも知れません。早めの検査で骨の健康状態を把握することが大切です。

新たな骨密度測定装置の導入

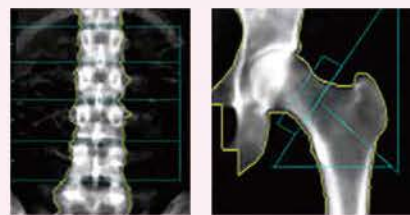
骨密度測定は、骨に含まれるカルシウムなどの成分量を測定する検査で、骨粗しょう症診断の重要なポイントになります。また、骨量の減少を早期に発見し、適切な予防や治療を行うことができます。

この度、当院で新たに導入した骨密度測定装置(写真)は、日本骨粗しょう症学会のガイドラインで推奨される精度の優れた方法を採用しています。この検査法は、骨折しやすい腰椎(背骨の腰に近い部分)と

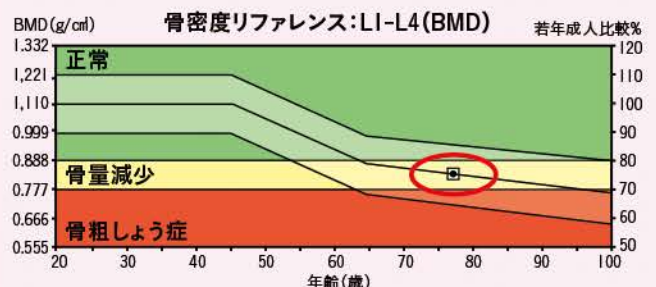
大腿骨近位部(足の付け根部分)を一度に直接測定でき、より正確な診断が可能です。また、検査結果をデータ化して、視覚的に表示できます(図)。検査は、検査台に仰向けに寝た状態で約10分で終わります。また、被曝線量は、胸部X線撮影よりも少なく、患者さんの負担を軽減します。



(写真) 新導入の骨密度測定装置



腰椎と大腿骨近位部の骨密度を測定



(図) 結果を図示(赤丸内の点が測定値)

GEヘルスケア・ジャパン(株)提供資料をもとに作成

認定看護師資格を 取得しました

この度、認定看護師の資格を取得した3名が抱負を読者の皆さんにお伝えします。



外来Ⅱ
中尾 裕美

今年7月に、日本看護協会のがん化学療法看護認定看護師の資格を取得しました。

近年、がん細胞の特性を利用した分子標的治療薬が導入され、それに伴い特有の副作用が出現しています。化学療法(薬物療法)を選択された患者さんが、副作用と向き合っておられる姿から、専門性を持ち看護を提供したいという気持ちが強くなり、取得を目指すきっかけの一つとなりました。現在治療の場が病棟から外来・在宅へ移行してきています。そんな中、化学療法の副作用と共に向き合い、その人にあったセルフケア実現に向け看護を提供していきたいと考えています。どうぞよろしくお願ひいたします。



中央手術室
福井 淳宏

今年7月に感染管理認定看護師の資格を取得しました。

感染管理とは、医療施設内での感染症流行を予防することを目的とした取り組みのことを指します。内容は多岐にわたり、感染予防システムの見直し、感染症の調査、感染予防技術の普及、感染拡大予防のための指導や相談、職員への感染防止、医療機器や施設の管理に及びます。

私が感染管理認定看護師を目指したのは、上記の取り組みを担うことで患者さんへの感染症伝播を予防し、疾病の治療が円滑に進むことの一助となればと考えたからです。今後も安心し医療を受けていただけるように努力していきたいと思ひます。



看護部管理室
若狭 征一郎

今年の7月に感染管理認定看護師の資格を取得しました。

感染管理認定看護師は、感染管理チームの一員として他職種と協働し、医療関連感染の予防と管理を行うことで、患者さんとその家族、訪問者、医療を提供する場で働くあらゆる人々を感染から守ることを役割としています。

感染管理は、病院全体の多くの人々の理解と協力があって成り立つものであるため、可能な限り科学的根拠に基づいた支援を実践することで、患者さんや現場に寄与し、地域の中核病院として安全で安心な医療環境を提供できるよう努めたいと考えています。

認定看護師とは…

日本看護協会の認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野で熟練した技術と知識を持つことが認められた看護師のこと。現在 21 の看護分野が定められています。(日本看護協会ホームページより)

病棟紹介 4階西病棟

4階西病棟 課長 松井玲子

病棟の概要

4階西病棟は、循環器内科、腎臓内科、内科(糖尿病)の50床の混合病棟です。

循環器内科では心臓センターとしての役割を担っており、狭心症・心筋梗塞などの冠動脈疾患に対して経皮的冠動脈インターベンション(カテーテルを用いて狭くなった冠動脈を拡げる治療)を行っています。また運動、食事、服薬などの生活習慣改善に向け多職種でチームを組み、外来とも連携をしながら心臓リハビリテーションも実施しています。腎臓内科では、急性腎障害や慢性腎不全の治療、透析導入の患者さんの受け入れを行っています。内科では主に、糖尿病教育入院の受け入れを行っています。

施設とスタッフ

病棟にはICU(集中治療室)2床、HCCU(冠状動脈疾患管理室)の病床が4床あり、心臓センターとして、集中ケアができるように整えております。

現在、病棟スタッフは、看護師32名(パート含む)、ケアアシスタント4名(介護職員初任者研修終了)、サポーター1名(看護補助者)で患者さんの看護を実践しております。

病棟の特徴と方針

4階西病棟は、日常生活での自己管理が重要となる疾患を持った患者さんが多く、短い入院期間の中で、それぞれの患者さんに合わせた生活指導に力を入れています。日々、質の高い信頼できる看護を目指し、患者さんが安心し、満足した医療が受けられるように、スタッフで力を合わせて協力しながら知識、技術の向上に努めています。



業務の様子



医師、看護師、コメディカルの合同カンファレンスの様子



スタッフ集合写真



心電図確認の様子

Report 1

今年も「ふれあい看護体験」を開催しました

看護部 副部長 藤本正子

「ふれあい看護体験」は、実際に業務を体験することにより、仕事への理解を深め、将来看護師・理学療法士などの医療職を目指す動機付けになることを期待して、毎年開催しているものです。今年は、8月2～4日の3日間開催し、市内の高校3年生33名の参加がありました。

看護体験では、車椅子に乗る・足浴・洗髪・シーツ交換など普段経験したことのない体験をしていただきました。体験後の意見交換で「看護師さんにとってはとってもよかった。仕事はとっても大変だけど絶対看護師になりたいと思いました。」など看護師を目指したいという力強い言葉が多数聞かれました。

看護師不足が深刻な問題となっている中、看護職などを目指すきっかけを作る環境を提供する事も市民病院の役割だと考えています。今後も医療職の仕事を知っていただける機会を設けていきたいと思っています。



お互いの脈を測定しています



ベッドに寝たままで足を洗わせていただきました



皺のないようにシーツ交換するのは難しいです

Report 2

市民参加講座に当院医師が出講しました

平成29年6月と7月、当院の医師が市民参加講座の講師をつとめました。

6月は、市主催による「さんだ生涯学習カレッジ」の大学院「健康福祉コース」で、消化器内科医師の池田副医長が担当しました。ウディタウン市民センターの会場では、動画、画像を駆使した「最新の消化器内視鏡の検査と治療」の講義に70人を超える「学生」が熱心に聞き入りました。講義後には理解度の高さを示す、的を射た質問がなされたのが印象的でした。

7月は、三田市社会福祉協議会主催の「がん最前線～消化器のがんを知ろう～」で、外科医師の大坪医長と前出の池田副医長が出講しました。会場の総合福祉保健センターの多目的ホールに参集した約70人の聴衆を前に、大坪医長は外科的な治療について、池田副医長は内視鏡の治療を、視覚的資料を活用し、わかりやすく話しました。

今後も適宜、市民参加講座などでのお話を通して、病気予防や治療への理解が深まる情報を発信していきたいと考えています。



ウディタウン市民センターでの講座



総合福祉保健センターでの講座

医師からのメッセージ

日々の診療に励む医師から、「すこやか」読者の皆さんへのメッセージをお届けします。



かしまぎ だいじ
柏木 大嗣

- 診療科 循環器内科
- 専門分野 循環器全般、
虚血性心疾患

message

平成28年から当院で勤務しております。一般内科疾患を初め、循環器救急の分野でも地域の方々が安心して生活いただけるように頑張っています。当院では24時間体制で循環器疾患の受け入れを行っておりますので、どんな些細な症状でもご相談ください。



かわさき ひでゆき
川崎 英之

- 診療科 整形外科
- 専門分野 外傷、関節リウマチ
- 資格 日本整形外科学会専門医

message

整形外科では地域の開業医の先生方と連携し、骨折や脱臼などの外傷手術を数多く行っております。また、変形性股関節症や変形性膝関節症に対する人工関節置換術の手術も、関節センターを設置し、率先して行っております。慢性的な膝痛や股関節痛にお悩みの方は、手術方法や入院期間の相談受診にも対応しますのでお気軽に受診ください。

薬の形について

薬剤科(診療技術部次長) 櫻井 美由紀

錠剤、カプセル、粉薬、塗り薬、座薬、注射薬など、薬にはいろいろな形があります。薬の形を「剤形」と言い、以下のように、用途や目的に合った形に工夫されて作られています。

1 飲みやすくする

錠剤をコーティングして苦味をなくしたり、甘いシロップ剤にして子どもに飲みやすくします。

2 使いやすくする

錠剤は、持ち運びやすく長期保管ができます。水なしで飲める錠剤もあります。粉薬は量の調節がしやすく、子どもの年齢や体重に合わせることができます。

3 効果が早くあられるようにする

注射薬は飲み薬よりも効果が早くあられます。

4 効果が長く続くようにする

錠剤には、段階的に溶けていくことで効果が長く続くように工夫されたものもあります。

早く効かせようとカプセルを割ったり、錠剤が大きすぎるからと砕いたりすると、薬の効果がなくなったり、副作用が出ることもあります。複数の剤形をもつ薬もあるので、飲みにくい、使いにくいときは医師、薬剤師にご相談ください。



近隣医療機関のご紹介

市民病院は地域医療連携を推進します。かかりつけ医を持ちましょう!



長谷川内科医院 長谷川 正樹 院長

ウッディタウンのあかしあ台で、平成10年に大野内科クリニックを継承し、今日に至っています。開業後も内科医療は進歩し、私が特に専門とする糖尿病、脂質異常症、高尿酸血症（痛風）などの代謝疾患の分野も各種の新薬が登場しました。しかし、それらの病気も、放置したり、油断するとさまざまな合併症が出てきます。最近では、がんや認知症も合併症に加わりました。放置したり、軽視せずに治療する努力が必要です。

当院では、三田市民病院、兵庫中央病院、済生会兵庫県病院、神大病院、阪大病院、その他の病院と連携をとり、精査が必要な時や、ご本人の要望に応じて、紹介させていただいています。今後も、来院される皆様の健康維持のお役に立てるよう努力いたします。



〒669-1323 三田市あかしあ台1-52-1
 電話 079-565-1465
 診察科目 内科、糖尿病内科、消化器内科、
 リハビリテーション科
 休診日 木曜・日曜・祝日、土曜日の午後

診療時間	午前 9:00~12:00		午後 4:00~6:00			
	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	×	○	○
午後	○	○	○	×	○	×



新任医師紹介

Introduction of new physician

当院では7・8月より新しく医師を迎えました。
 より一層日々の診療に力を入れてまいります。



脳神経外科

お か だ た か し
 医長 岡田 崇志

出身地 兵庫県

趣味 競馬、
 アメリカンフットボール

7月より脳神経外科医として赴任しました、岡田と申します。脳神経外科医として皆様のお役に立てるように頑張ります。よろしくお願いいたします。



皮膚科

た け うち せい じ
 医長 竹内 聖二

出身地 宮崎県

趣味 食べ歩き、映画鑑賞、
 スポーツ観戦

本年8月に皮膚科に赴任してまいりました。三田市及びその周辺にお住まいの方々のため、皮膚科医として、優しく丁寧に、よりよい医療を提供していきたいと考えています。何卒よろしくお願いいたします。

編集後記

今年も暑かった夏が過ぎ、秋がやってまいりました。秋といえば、皆さんは「何の秋」でしょうか？スポーツの秋、読書の秋、食欲の秋、色々な秋があると思います。いずれの秋であっても、皆さんにとって良い秋となりますようお願いしております。

すこやか(第199号)
 平成29年9月発行

【編集・発行】
 三田市民病院
 学術広報推進委員会



三田市民病院

〒669-1321 三田市けやき台3丁目1番地1
 TEL.079-565-8000 (代表)
<http://www.hospital.sanda.hyogo.jp/>